

Business Guide
2026 事業案内

一般社団法人 **日本真空工業会**

ごあいさつ

平素より、日本真空工業会（以下、JVIA）の活動にご支援を賜り、誠にありがとうございます。

JVIAは、真空産業および関連企業の健全な発展を通じて社会に貢献し、会員相互の協調と発展を図ることを目的に活動しております。皆様のご支援により、昨年、創立40周年を迎えることができました。心より御礼申し上げます。

さて、社会に目を向けますと、新型コロナウイルスのパンデミック終息以降、人々の移動や経済活動は次第に活発さを取り戻しつつあります。日本国内においても、経済成長と産業競争力の強化に向けたさまざまな取り組みが進められており、AI半導体、量子技術、核融合、先端材料といった分野が重要な戦略領域として位置付けられています。これらの分野はいずれも、研究開発から量産に至るまで、真空装置および真空部品・材料を不可欠としています。AI半導体の製造、量子コンピューターや量子チップの開発、核融合発電における巨大真空容器、さらには永久磁石の製造に至るまで、真空技術は幅広く活用されています。こうして俯瞰すると、真空技術は日本経済、ひいては世界の産業基盤を支えるコア技術の一つであると言えるのではないのでしょうか。

他方、経済安全保障の観点からの輸出規制の強化や国際的な分断の進行、原材料やエネルギー価格の高騰、さらには少子高齢化に伴う慢性的な人手不足など、産業を取り巻く環境はかつてないほど複雑さを増しています。このような状況下においては、個々の企業の努力に加え、業界全体としての情報共有や連携、共通課題への取り組みがますます重要になると考えています。

JVIAにおきましては、各委員会が中心となり、人材育成（「真空ウォーキング」等の教育プログラム）、真空展やビジネスマッチング、国内・海外視察などの交流機会を企画・推進しています。また、日本表面真空学会との産学連携や経済産業省との連携を通じ、関連情報を「JVIA通信」等で会員の皆様へ共有してまいります。

今後も、より魅力ある工業会を目指し、会員の皆様のご要望にお応えできるよう取り組んでまいります。引き続きご指導、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2026年5月 一般社団法人日本真空工業会
会長 恒川 孝二



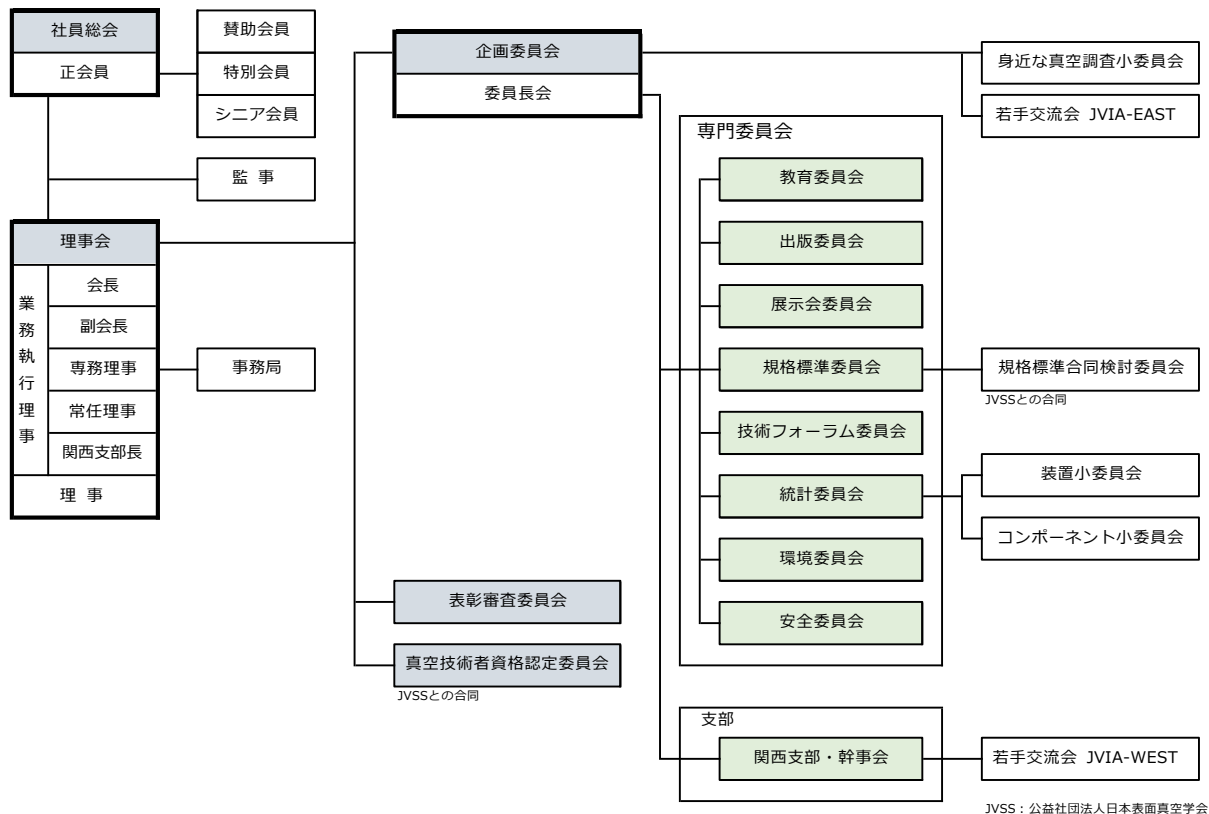
設立

日本真空工業会は、1985年7月、日本真空協会（現 日本表面真空学会）から独立して設立されました。2025年に40周年を迎えました。

役員

会長	恒川 孝二	キャノンアネルパ株式会社	取締役 最高技術責任者
副会長	今村 圭吾	芝浦メカトロニクス株式会社	代表取締役社長
副会長	眞下 忠	神港精機株式会社	相談役
副会長	島田 鉄也	株式会社アルバック	取締役
関西支部長/常任理事	田中 雅彦	株式会社島津製作所	上席執行役員 産業機械事業部長
専務理事	高山 紀子	一般社団法人日本真空工業会	専務理事
常任理事	露木 聖一	株式会社荏原製作所	執行役 コンポーネント事業部長
常任理事	富田 良幸	住友重機械工業株式会社	常勤顧問
常任理事	黒岩 雅英	東京電子株式会社	代表取締役社長
常任理事	成田 正哉	株式会社シンクロン	代表取締役社長
常任理事	西野 功二	株式会社フジキン	取締役 技術本部長
常任理事	入江 則裕	入江工研株式会社	代表取締役社長
理事	小俣 邦正	株式会社昭和真空	代表取締役 執行役員会長
理事	笠岡 一之	株式会社大阪真空機器製作所	代表取締役社長
理事	佐藤 弘悦	佐藤真空株式会社	代表取締役会長
理事	塩田 将司	日本電子株式会社	執行役員
理事	熊谷 直美	インフィコン株式会社	代表取締役社長
理事	福谷 克之	公益社団法人日本表面真空学会	元会長
監事	伊藤 博之	キャノントッキ株式会社	代表取締役社長
監事	岩井 隆弥	アルバックテクノ株式会社	代表取締役社長

組 織



企画委員会

日本真空工業の定款に照らし、その目的を遂行するためにどのような事業展開すべきか提案し、理事会・委員長会にその結果を諮ることより各委員会の活動を推進しています。

教育委員会

真空技術関連者の教育の重要性を認識し、初歩的な真空技術者の教育としては真空基礎講習会 真空ウォーキングコース 他、はじめて真空、真空入門講座、真空排気系計算コース実践編（2023年新講座）等を実施しています。

出版委員会

真空技術情報誌「真空ジャーナル」の編集企画から取材・校正・発行までを担当し、真空技術の教育および普及に努めています。

展示会委員会

毎年1回開催される「真空展」の企画と運営を担当しています。なかでも「真空展主催者ゾーン」は、真空を分かりやすく理解するのに役立つと毎年好評をいただいています。

規格標準委員会

JIS や ISO 規格等の真空関連規格の見直しや新たな企画の検討を、（公益）日本表面真空学会との合同委員会「規格標準合同検討委員会」にて行い、（一財）日本規格協会 ISO 当局に提案して真空関連規格の整備を行っています。

技術フォーラム委員会

真空展のフォーラム・シンポジウムでの企画・運営を行い、最先端の真空技術の普及にも役立っています。結果は真空ジャーナルにまとめて会員に提供しています。

統計委員会

会員企業の取り扱う真空機器の受注売上調査を行い、その統計を会員企業に配付するとともに、一部を公表し真空業界をアピールする活動を行っています。装置小委員会とコンポーネント小委員会で構成しています。

環境委員会

会員企業に対して環境に配慮した製品開発・製造を推進するための様々な啓発活動を行っています。毎年秋に環境報告書を発行し、真空ジャーナル JVIA Web サイトに環境関連資料を公開しています。また、各種セミナーを実施してやカーボンニュートラルや環境関連の最新情報を提供しています。

安全委員会

真空機器の製造および取り扱い環境の中で、作業安全や健康維持、保全作業に関わる調査を行い、会員企業に情報提供しています。さらに作業安全教育講座（真空展）等の教育活動を実施しています。

関西支部

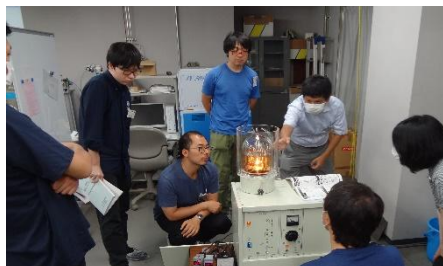
西日本地区で活動する会員企業により構成され、相互の協調親睦を図るために総会・講演見学会および懇談会、支部会を開催しています。

真空ウォーキングコース ～実習で体験する真空基礎講習会～

真空技術の基礎をわかりやすく理解できるよう、実習をふんだんに織り込んだ3日間のオリジナル講習会です。真空産業に携わる方に広く受講していただける人気の講習会です。工学院大学八王子キャンパスにて開催します。



「パルプ分解・組立講座」実習風景



「薄膜作成技術講座」実習風景



「油回転ポンプ講座」実習風景



座学「真空を考える」受講風景

真空入門講座



真空展での講座は毎年定員超えの人気

環境教育講座



カーボンニュートラルなど注目のテーマを厳選

JVIA 表彰 表彰式



2025年度受賞者のみなさん

真空排気系計算コース実践編

2023年度新設、真空排気系設計の基礎知識を習得する実践講座です。真空排気系を選定するうえで欠かせない知識を確実なものにすることをめざします。



熱心に講師に質問を投げかける受講生のみなさん

真空フォーラム・シンポジウム

話題の新技术を取り上げ、真空産業と新しい接点を見いだします。



2025年テーマ「サステナブルな社会を宇宙から～宇宙開発・ビジネスの最前線～」

ビジネスマッチング

JVIA 会員とサプライヤ・協力会社が一堂に会し、交流会を開催しています。ビジネス拡大の絶好のチャンスです。



多くの方と繋がる交流会はビジネス拡大の絶好のチャンス

海外・国内視察ツアー

アメリカ、ヨーロッパ、東南アジア等の海外や国内各地に企業訪問、展示会見学などJVIA視察を実施しています。異文化体験、参加者同士の交流ができます。



2025年度は「台湾海外視察」として
工業技術研究院(ITRI)やTSMC創新館、明新科技大学等を視察

新春賀詞交歓会



会員間の情報交換や懇親を深める

若手交流会



日本科学未来館を見学、次世代に期待

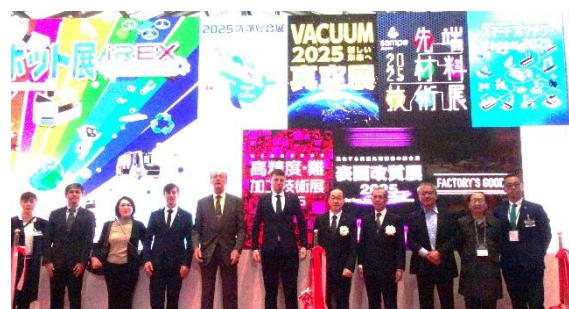
関西支部



春の修養会の様子、毎年活発な活動を展開

真空展 ～真空技術で豊かな未来へ～

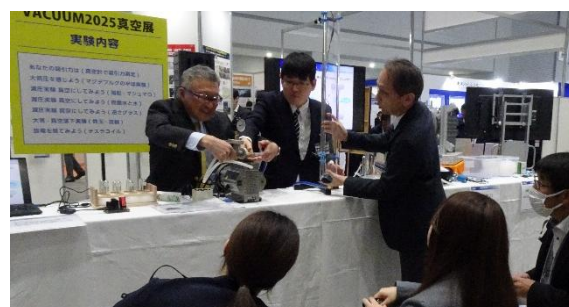
真空技術と関連機器の成果を展示する総合真空技術展です。毎年秋から冬にかけて東京ビッグサイトで開催しています。3日間の開催期間中には12,000人近くの来場者があり、真空機器の展示会としては世界最大規模です。



オープニングセレモニー



JVIA 主催者ゾーン
夢の次世代エネルギー「フュージョンエネルギー」とは!?



実演を交えた「真空実験コーナー」

会員構成

正会員

真空機器等を生産・販売する事業を営む方ならびにそれらの方を主たる構成員とする団体

賛助会員

上記以外の方であって本会の目的に賛同し、その活動に協力いただける団体

特別会員

官公庁またはそれに準じる団体であって、本会の目的に賛同しその活動に協力いただける団体

シニア会員

JVIA 会員会社を退職した方で、本会の目的に賛同いただける個人

入会金および会費

正会員

入会金 10万円

年会費

年間売上高(億円)	年額(万円)
500以上	144
300以上500未満	132
200以上300未満	120
100以上200未満	108
50以上100未満	84
30以上50未満	60
10以上30未満	48
5以上10未満	42
3以上5未満	36
3未満	30

賛助会員

入会金 5万円

年会費

資本金(億円)	年額(万円)
100以上	42
1以上100未満	36
0.3以上1未満	30
0.1超0.3未満	24
0.1以下	12

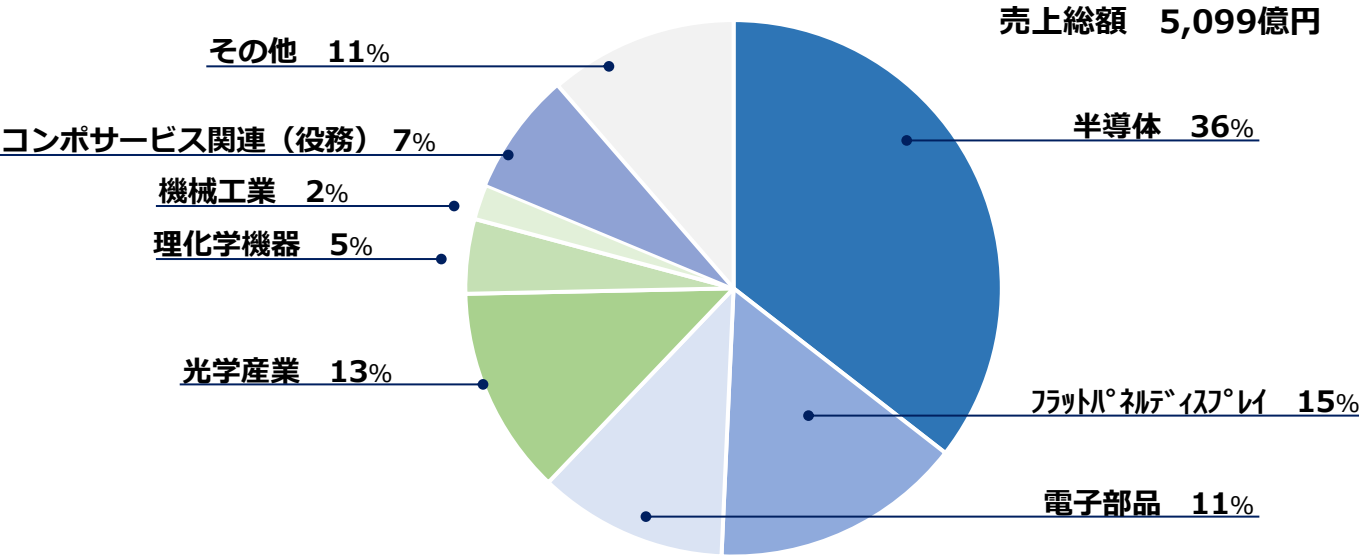
特別会員

入会金 無料 年会費 無料

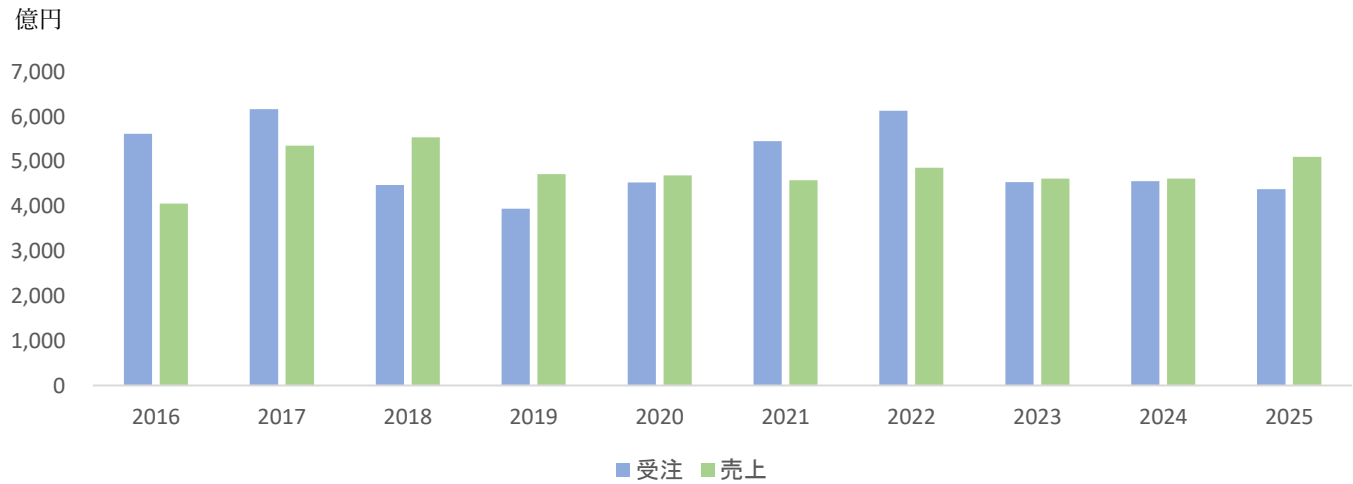
シニア会員

入会金 無料 年会費 5千円

真空機器 産業分野別売上統計（2025年度）



真空機器 受注売上推移（10 年間）



注：本統計は提出されたデータ値を集計

正会員

アズビル株式会社
アネスト岩田株式会社
アユミ工業株式会社
株式会社アルバック
アルバック機工株式会社
アルバック・クライオ株式会社
アルバックテクノ株式会社
株式会社アンレット
イーバックジャパン株式会社
入江工研株式会社
インフィコン株式会社
エドワーズ株式会社
株式会社荏原製作所
株式会社荏原フィールドテック
株式会社大阪真空機器製作所
大阪ラセン管工業株式会社
株式会社岡野製作所
株式会社オプトラン
キヤノンアネルバ株式会社
キヤノントッキ株式会社
株式会社旭東金属
QUER株式会社
コアテクノロジー株式会社
佐藤真空株式会社
株式会社サンリック
三和真空株式会社
芝浦エレテック株式会社
芝浦メカトロニクス株式会社
株式会社島津製作所
株式会社昭和真空
株式会社シンクロン
神港精機株式会社
住友重機械工業株式会社
東京電子株式会社
内外テック株式会社
ライボルト株式会社
日本電子株式会社
株式会社ヒラノK & E
株式会社ブイテックス
株式会社フェローテック
株式会社フジキン
株式会社フジ・テクノロジー
三菱電線工業株式会社
株式会社ムサシノエンジニアリング
株式会社吉川製作所
株式会社リガク
若井田理学株式会社

特別会員

岩手県 I L C 推進局
国立研究開発法人 科学技術振興機構
鹿児島県 商工労働水産部
地方独立行政法人 神奈川県立産業技術総合研究所
熊本県 商工観光労働部
光学薄膜研究会
国立研究開発法人 産業技術総合研究所
計測標準研究部門 力学計測科 圧力真空標準研究室
国立研究開発法人 産業技術総合研究所
先進製造プロセス研究部門
静岡県
国立大学法人 豊橋技術科学大学
国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構
公益財団法人やまぐち産業振興財団
国立大学法人 山口大学
独立行政法人 労働安全衛生総合研究所

賛助会員

赤田工業株式会社
秋田化学工業株式会社
旭国際テクネイオン株式会社
株式会社旭精機
アストロニクス株式会社
株式会社アドバンテスト
株式会社アドバンテック
アリオス株式会社
アルバック 販売株式会社
アルバック・ファイ株式会社
イハラサイエンス株式会社
ウイツエンマンジャパン株式会社
NOK クリューバー株式会社
MKN アルミニウム株式会社
株式会社エムテック
株式会社岡崎製作所
檜山工業株式会社
カナデビア株式会社
キョーラクエンジニアリング株式会社
株式会社金属被膜研究所
株式会社グリーンテック
Q's株式会社
株式会社コスモ・サイエンス
コスモ・テック株式会社
株式会社コムズ
株式会社コンサス
株式会社サンナノテクノロジー
株式会社サンバック
真空光学株式会社
株式会社シー・エヌ・ティ
CKD 日機電装株式会社
島津産機システムズ株式会社
湘南技術センター株式会社
株式会社昭和螺旋管製作所
株式会社Sinteg
鈴木機械株式会社
株式会社タアフ
株式会社大楨精機
大成技研株式会社
株式会社田崎アサヒ
株式会社ツバコー・ケー・アイ
株式会社テクノポート
東京エレクトロン株式会社
東製株式会社
東北三吉工業株式会社
東洋ステンレス化工株式会社
東レエンジニアリング先端半導体MIテクノロジー株式会社
東和工業株式会社
ナイス株式会社
ナグモ産業株式会社
南国フレキ工業株式会社
株式会社ニッペコ
日本スウェージロックFST株式会社
一般社団法人日本半導体製造装置協会
日本ブッシュ株式会社
株式会社ニューフレアテクノロジー
株式会社バパス
株式会社富士交易
ベッカーエアートテクノ株式会社
株式会社堀場エステック
株式会社マルナカ
株式会社マルマエ
三菱化工機株式会社
株式会社MURONE
株式会社MORESCO
株式会社矢作製作所
株式会社三田工業所
株式会社山川機械製作所
株式会社ヤマト
UFT株式会社
株式会社ワイ・デー・ケー

JVIA（日本真空工業会）は国内唯一の真空関連の業界団体です

入ってよかった日本真空工業会 をめざして

いち早く最新の技術情報や業界動向を入手できます

ホームページの会員専用ページより、会員限定の情報を得られます。
経済産業省・官公庁等からの最新情報をお届けします。
ISO や JIS 規格の最新情報を入手できます。
真空に関する情報満載の機関誌「真空ジャーナル」を毎回お届けします。

講演会、研修会、講習会等にご参加いただけます

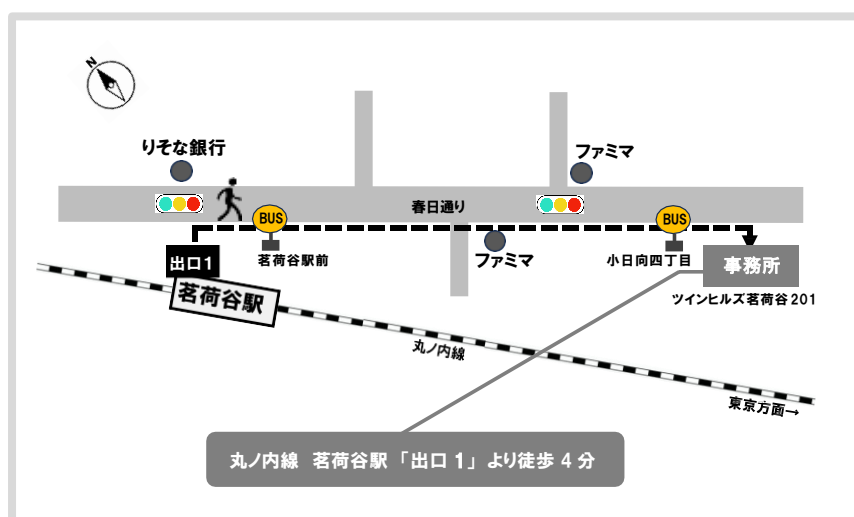
人気の真空ウォーキングコースは各社の真空教育のサポートとしてご利用いただけます。
真空入門講座、環境教育講座、安全教育講座、薄膜技術講座等にご参加いただけます。
定時社員総会記念講演会等にご参加いただけます。
真空展の各種講座や様々なセミナーに会員価格でご参加いただけます。

会員間の交流、情報交換、人材育成がはかれます

賀詞交歓会、総会懇親会に参加し、会員間の交流、情報交換がはかれます。
若手交流会等に若手社員が参加することで次世代の業界を担う人材の交流がはかれます。
海外視察、国内視察等に参加することで、会員間の交流がはかれます。
各委員会での業界他社との活動を通して、幅広い人脈形成と人材育成が期待できます。

JVIA は会員のみなさまの経営をサポートします

ビジネスマッチングに参加することで、ビジネスのチャンスが広がります。
国内市場動向と国際市場動向が分かる最新の統計資料を定期的にお届けします。
真空展に特別優待価格で出展できます。
公的支援利用のサポートが受けられます。



2026100101

一般社団法人日本真空工業会
〒112-0006 東京都文京区小日向4-5-16
ツインヒルズ茗荷谷201
TEL 03-6902-1388 FAX 03-6902-1567